



10/15~16

ランタンの光に希望の祈り

第11回南阿蘇えほんのくに誕生祭「笑顔をとどけるブルーピーフェスタ」

「南阿蘇えほんのくに誕生祭」が本村と高森町を会場に開催されました。

イベントの最後を飾ったのは、LEDを使用した手作りランタンの点灯式。

この日のために福島県の仮設住宅に入居されている皆さんが、熊本地震で被災した南阿蘇を思い作成し贈られたランタン150個と、イベント当日に会場にて作ったものを合わせ、阿蘇を象徴する「山」の文字に並べられると、ほのかに光る灯りが、夕暮れとともに鮮やかな光となりました。会場となった「葉祥明阿蘇美術館」の草原は美しく彩られ、復興への祈りに包まれました。



「山」の文字に並べられたランタン

10/14

海の幸・山の幸たくさん買いました!

「道の駅上天草さんぱーる」出張販売

震災により買い物にも不便な状況になった村民の買い物支援として、「道の駅あそ望の郷くぎの」と上天草市の「道の駅上天草さんぱーる」、村内物産館が加勢ノ上仮設団地と、下野山田仮設団地で出張販売を行いました。

団地内にある「みんなの家」前広場に特設販売所が設置され、天草名物の乾物や一夜干し、天ぷらなどや、村の特産物のそばセットや白川水源の水、新鮮野菜が数多く並べられ、販売開始から品物を買求める仮設団地入居者などが行列を作っていました。当日は、くまモンと、かなばあちゃんも訪れ、一緒に写真撮影をする来場者もいました。



多くの買い物客で賑わう出張販売(加勢ノ上仮設団地)

10/20

南阿蘇の魅力発信を期待

「南阿蘇村移住促進実行委員会」設立

村内在住の移住者が主体となって活動する「南阿蘇村移住促進実行委員会」設立総会が久木野庁舎で開催され、移住者や関係者17人が参加しました。

これは、震災の影響などで人口が減少している村へ移住・定住を促進することで、都市圏などからの定住人口増加や、地域経済の活性化を目的としたもの。

今後は移住者、移住希望者、地域との3者での村の地元食材を使用した「ふるまい交流会」などが予定されており、地域と移住者、移住希望者が親睦を深め、移住希望者への情報発信源となる取り組みが期待されます。



委員会の会長あいさつをする増田一正さん(沢津野)

10/16

また南阿蘇で学びたい

みずあかりin南阿蘇

熊本地震から半年を迎え、旧長陽西部小学校グラウンドで、「みずあかりin南阿蘇」が開催されました。

これは、東海大学阿蘇キャンパスの学生が地震の影響で熊本市のキャンパスに通い始め、学生たちが村へ来る機会が減り、お世話になっている大家さんや黒川地区の住民の皆さんに会いたいという思いや、亡くなった方々を偲びたいという思いから実現したものです。

グラウンドには、メッセージが入った手作りの三角や竹の灯籠が、再会を喜んだ多くの参加者により設置され日没に合わせて点灯されました。

イベントの終わりには、竹原満博黒川区長が「おかえりなさい」と学生たちへ述べられました。



参加者で灯籠を設置(左) 灯かりが灯され輝く灯籠(右)

10/29 震災に負けず神楽を奉納 長野阿蘇神社秋季大祭

長野阿蘇神社秋季大祭が、神楽の里公園「神楽殿」で開催され、子ども相撲や神楽の奉納が行われました。

4月に発生した熊本地震で大きな被害を受けた長野地区ですが、被害が大きかったからこそ大祭への想いがあり、開催されました。

祭りは、長野岩戸神楽保存会（飛瀬孝治会長）により十一座の神楽（全三十三座）の奉納が行われ、「第十六座」の「八雲拂」、「第二十九座」の「天皇注連」などが披露。

荒神さまと柴（榊）を引き合う舞「第十九座 柴引荒神」では、参加した子どもたちと荒神さまとの引き合いが繰り広げられ、多くの観客から声援がわき起こりました。



観客と柴を引き合う「柴引荒神」

10/22 熊本の元気を全国に MUSIC for Aso 2016 supported by ap bank

熊本の元気な姿を県内外にアピールし、地域の士気の向上、観光・農業を復興させることを目的に、「MUSIC for ASO 2016」が、アスペクタで、音楽プロデューサーの小林武史さんが代表を務める「ap bank」、同イベント実行委員会主催で開催されました。

当日は、あいにくの雨となりましたが、県内外から6,000人が来場。櫻井和寿さんが参加する「Bank Band」や、MISIAさん、秦基博さん、藤巻亮太さんなど活躍するアーティストが続々と登場すると、会場は熱気に溢れていました。



ステージで熱唱する櫻井和寿さん

11/6 おかげさまで1周年 農事組合法人「南阿蘇くぎの」感謝祭

農事組合法人「南阿蘇くぎの」設立1周年を記念した「感謝祭」（同法人主催）が同法人事務所前広場（第八駐在）で開催されました。

祭の前には、同法人の設立一周年奉告の神事も行われました。

祭では、阿蘇市無形文化財の「小倉虎舞」やシンガーソングライターの「SHIROST lee」や、「よつば」のステージ、会場一帯では、新米や野菜の販売や子どもを対象とした、トラクターやコンバインなどの農業機械乗車体験が行われました。

終わりには、電化製品など豪華景品があたる「ビンゴ大会」があり、会場内は訪れた人たちで賑わっていました。



阿蘇市無形文化財の「小倉虎舞」

11/3 深まる秋の景色で素敵な出会い 第2回南阿蘇村・紅葉トレッキング山コン

トレッキングやアウトドア活動を通して未婚の男女に恋人を見つけてもらい、出会いの聖地で将来にわたる定住の促進を目的に、「第2回南阿蘇村・紅葉トレッキング山コン」が開催され、10組のカップルが誕生しました。

イベントには、男性39人、女性40人が参加。南外輪山地蔵峠から「サントリーの森」のコースをトレッキング、ネイチャーゲームや、アウトドア体験を楽しみました。

この日は、昨年11月3日山コンのイベントでカップルになり、イベント当日結婚式を行った夫婦と、婚姻届を提出した夫婦がゲストとして登場。カップルになった女性に向け、新婦の久永暖さん（黒川区出身）からブーケスが行われました。



結婚の報告に登場した久永大悟さん（左から2人目から）、暖さん夫妻、川津貴紀さん、章子さん夫妻